

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	英語教育学専攻				
実施方法	① 通学（昼間・平日夜間・土） ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	2810042	—	1710011	—	0
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(1人)	修了者数 (1人)	
平成16年 4月 1日	令和8年 3月 31日まで				
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	338時間	

## 1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( 分野: 人文科学・人文 ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本学修士課程への出願資格を満たす者で、小学校教諭普通免許状1種(英語)、2種、専修免許状、中学校／高等学校普通免許状1種(英語)、2種(英語※中学校のみ)、専修免許状(英語)、特別免許状(英語)のいずれかを所持し、入学時に1年以上の教育経験を有する現職教員あるいはそれに準ずる者であり、入学後本学在学中に教育実践ができる場を持っていること。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	英語教員(小中高生を対象にした英語教育)

## 2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
共通必修科目16単位	180時間	シラバスを参照
コース必修科目6単位	68時間	
選択科目8単位(以上)	90時間	

## 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	1年以上の英語教育経験を有すること。
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	小学校教諭普通免許状1種、2種、専修免許状、中学校／高等学校普通免許状1種(英語)、2種(英語※中学校のみ)、専修免許状(英語)、特別免許状(英語)のいずれかを所持していること。
③その他	入学後、本学在学中に教育実践ができる場をもっていること。

### [ 特 記 事 項 ]

--

# 専門実践教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	1	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	1	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(③/②)	0.0	%
④ ③のうち合格者数	0	人	合格率(④/③)	0.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	1	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		1	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人		
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)		人	②B: 非就業者計	
	4 非就業		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

在職しながら、大学院に進学。

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	指導教員及び学外の当該分野の専門家を含む3名の審査委員により、受講者の修士論文に関して英語による口頭試問等審査に一定水準を満たした場合に合格としている。
-------------------------------------	--

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>																					
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席状況、課題の内容、授業中のプレゼンテーション等の活動、受講者間での討議内容等から評価し、一定基準を満たした者を合格としている。																				
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	受講者がいかに自らを深く見詰め教師として振り返り、次の成長につないでいるかを担当講師が受講生の発表やレポート等から判断する。																				
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	2年以上在学し、コース授業科目を合計30単位以上取得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。																				
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	指導教員及び学外の当該分野の専門家を含む3名の審査委員により、受講者の修士論文に関して英語による口頭試問等審査に一定水準を満たした場合に合格としている。																				
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																					
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	講師に対する質問の随時受付(研究室での対応及びメールを活用)、履修1年目のアドバイザー制度、論文執筆時の指導担当教員によるサポート。																				
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	授業に関わる情報、学内での特別講演会情報や学外での学会、研究会情報を大学ポータルサイト、ウェブサイト、メール等で発信。																				
<b>8. その他の事項</b>																					
指定教育訓練実施者名及び代表者名	神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学 (代表者名: 理事長 武田 廣)																				
住所及び連絡先	神戸市西区学園東町9丁目1番地 TEL 078-794-8161																				
施設名称及び施設長名	同上 (施設長: )																				
住所及び連絡先	TEL 078-794-8161																				
苦情受付者	研究所グループ大学院担当	事務担当者	研究所グループ大学院担当																		
連絡先	TEL 078-794-8161	連絡先	TEL 078-794-8161																		
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 1,494,600 円 * 神戸市民及びその子弟に該当する場合は、1,368,600円																				
支払い方法	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 423,000 円 * 神戸市民及びその子弟は297,000円																				
① 一括払																					
② 分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第1期</td><td style="padding: 0 5px;">267,900</td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第2期</td><td style="padding: 0 5px;">267,900</td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第3期</td><td style="padding: 0 5px;">267,900</td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第4期</td><td style="padding: 0 5px;">267,900</td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第5期</td><td style="padding: 0 5px;"></td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">第6期</td><td style="padding: 0 5px;"></td><td style="padding: 0 5px;">円</td></tr> </table> (必須教材費は、上記に含む)			第1期	267,900	円	第2期	267,900	円	第3期	267,900	円	第4期	267,900	円	第5期		円	第6期		円
第1期	267,900	円																			
第2期	267,900	円																			
第3期	267,900	円																			
第4期	267,900	円																			
第5期		円																			
第6期		円																			
③ 両方可																					
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円																				
	① 任意の教材費(税込額) 0 円																				
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 0 円																				
	③ 施設維持費(税込額) 0 円																				
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 0 円																				
	3. 総額 (1+2) (税込額) 1,494,600 円 * 神戸市民及びその子弟に該当する場合は、1,368,600円																				